

第19回にいがたカナル彩・春に県内の仲間と

新潟県 初級園芸福祉士 高野 久美

第19回新潟県都市緑花フェア「にいがた カナル彩・春」が4月22(土)23(日)に開催されました。他より少し遅い春を迎える新潟では、ちょうど桜も満開の時期。両日とも、ぽかぽかのお花見日和となり、会場は10万4000人の来場者を花いっぱいでもて迎えました。



私たち、新潟の初級園芸福祉士も、この会場に初めてお誘いを頂き、いざ出陣！協会や県内の実践者によるブース出展に、埼玉県のと風の舎さんの応援も加わり、さらにそのブースに囲まれるように、真ん中には木箱とプランターで車いすの高さに合わせて作られ、カラフルな春の花々に彩られたミニガーデンが。園芸福祉色に染められた素敵なコーナーができあがりました。



また、「植物に触れて楽しむコミュニティ作り」をテーマに、1日2回、参加型の実演会も行われました。その名も「花の三角ツリー体験コーナー」！三角の厚紙に貼りつけられたオアシスに、ドライフラワーをアレンジしてもらい、それを上から飾っていき、大きなツリーを作るというもの。自分で好きな色や種類の花を選んだり、作りながらおしゃべりを楽しんだり、他の人と一緒にひとつの作品を作る連帯感を感じたり園芸福祉のエッセンスがところどころにちりばめられた体験コーナーとなりました。

参加してくれた60人近くのみなさんには、それぞれ題名と感想を書いてもらい一緒に展示しました。子供連れのママさんは「ストレス解消になった」、小さな女の子は「かわいくできてうれしかった」、中には「自分の気持ちにストレートになれた」なんていう、興味深い感想も。スタッフのほとんどは、この春になりたての初級園芸福祉士。ボランティアとはいえ、初めての初級園芸福祉士としての活動に充実感一杯で2日間を過ごしました。

